

<平成 24 年 9 月 25 日>

「備えて安心！」災害時の長期保存食として！ 新商品スチール缶入り『保存用くろがね堅パン』を発売します

- (株)スピナでは、平成 24 年 11 月 1 日(木)から同社商品の「くろがね堅パン」を「スチール缶」の容器に密封した新商品を発売いたします。
- 「くろがね堅パン」は、大正時代から官営八幡製鉄所(現在の新日鐵八幡製鐵所)で考案されたもので、くろがね(鉄)のような『堅さ』と昔懐かしい『自然の風味』が好評です。なにより、保存性が高い特長があります。昨年の東日本大震災時には、被災地への救援物資として 9,300 袋を支援しました。
- 今回、保存性の高い堅パンを新日本製鐵(株)の協力を得て開発した頑丈な「スチール缶」の容器に密封することで、さらに長期保存を可能にしました。保存期間は 5 年間です。なお、容器のスチール缶は、災害時には水汲み用バケツや腰掛用椅子などの非常用具としてもご利用いただけます。
- 近年、自然災害が猛威を振るっており、日頃から万が一の災害に備えて準備しておくことが重要とされています。本商品は、『備えて安心！』をテーマに皆さまの防災の一役を担うものと期待しております。ぜひ、この機会にご利用ください。

■ スチール缶入り『保存用くろがね堅パン』の概要

【販売開始日】 平成 24 年 11 月 1 日(木)

【商品説明】 くろがね堅パン(5 枚入/袋×34 袋)を頑丈なスチール缶の容器に密封したもの
○保存期間は、5 年間
○スチール缶の寸法は、直径 32cm、高さ 24.5cm の円柱缶
○スチール缶の総重量は、約 6kg

【販売予定価格】 1 缶(34 袋、170 枚入り) 7,800 円(消費税別途)

【製造・販売】 (株)スピナ
(北九州市八幡東区平野二丁目 11 番 1 号)
※発送販売も承ります。(送料は別途必要)
お問い合わせ先: 商業レジャー部堅パン課 093-681-7350

【商品写真】



スチール缶入り『保存用くろがね堅パン』



「くろがね堅パン」

(参考)「くろがね堅パン」について

大正時代に官営八幡製鐵所(現:新日鐵八幡製鐵所)が、工場内の厳しい労働条件(過酷な湿度と温度)の下で働く従業員のカロリー補給を目的として、独特の原料と製法により開発した商品です。現在では、これを引き継いだ(株)スピナが伝統の製法と独特の堅さを守り続け、製造・販売しており、「北九州食のブランド」に認定されています。災害に備えての保存食のほか、登山やレジャー時の携帯食、お子さまのアゴの発育や歯がためなど多くの人に親しまれています。

(参考) (株)スピナの概要

【所在地】	北九州市八幡東区平野二丁目 11 番 1 号
【設立】	昭和 27 年 9 月 1 日
【資本金】	480 百万円(西日本鉄道(株)100%出資)
【代表者】	代表取締役社長 小田孝幸
【事業内容】	不動産賃貸業、総合ビル管理業、防疫業、太陽光発電工事業、自動車事業、堅パン・羊羹製造業、携帯電話販売業、ゴルフ練習場経営、緑化環境事業、各種販売業
【売上高】	6,336 百万円(平成 24 年 3 月期)
【従業員数】	340 名(平成 24 年 3 月 31 日現在)

本件に関するお問い合わせは、西鉄お客さまセンター (TEL0570-00-1010)まで